みなと SDGs パートナー 登録申請書

<u> 令和 4 年 9 月 2 日</u>

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企	業	•	団	体	名	東洋建設株式会社
所		7.	Ē		地	東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
代	表者	行役	職	・氏	名	代表取締役社長 武澤恭司
+0	N/Z	_±∠	·串	4.47	#	電 話:03-6361-5462
担	当	白	疋	絡	先	メール: saito-tadasuke@toyo-const.co.jp
ウ	ェブ	サ~	1	U R	L	https://www.toyo-const.co.jp/csr

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和4年に創業した総合建設業者であり、港湾工事、浚渫・埋立工事等の請負事業を営んでいる。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用や作業船の使用 燃料転換、油圧駆動の部分電動化等により、 完成工事高1億円当たりのCO2排出量を削減 する。	【目標】2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-C02/億円以下 海上土木 47.5t-C02/億円以下 建築 10.7t-C02/億円以下
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、 生産性向上施策の実施により、時間外労働時 間を短縮する。	時間外労働時間 【現状】平均 48.5 時間/月、582 時間/年 【目標】上限 45.0 時間/月、360 時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の実施件数 【目標】10 件以上

SDGs達成に向けた具体的な取組

	ьΙ		I	1			主 力	cSDG:	s (17	/ ¬ı̈́ –	لم راا –	- 169	ターゲ	デッ アッ	ト)関連	項日		
	カーテゴ	チェック項目	具体的な取組	1	2	3			6		8						15 16	17
	ゴ 丿	チェック項目	(公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	155 İviti	2 🗮	3 ************************************	4 FORMER	5 0000-TRE SEC.11	6 Readers	7 Eliaf-Market Militario	8 HER **	9 :::::::::::::::::::::::::::::::::::::	10 ANDARES	11 :::::::: AB4:::	13 110000	14 Mediuse	16 ************************************	17 destruction
1	人	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整 備し、差別がないことを確認している	・当社の行動規範、行動指針に基づきコンプライアンスマニュアルにも人権尊重・差別禁止を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携行させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。・法務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	・職場におけるハラスメンの防止規程を定めている。 ・通報窓口は、法務部長または社外に設置した通報窓口(顧問弁護士)としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・適正な工期による契約の締結。 ・時短を促す意識改革と制度の導入。 ・DXによる生産性向上施策の実施。								8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・当社の行動規範、行動指針に基づきコンプライアンスマニュアルにも人権尊重・差別禁止を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携行させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。・法務部長を相談窓口としている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	ISO45001労働安全衛生マネジメントシステムの認定を取得している。 ・役職員向けの安全衛生教育を実施し、周知徹底を図っている。			3					8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・こころの健康づくり等に取組み、ヘルスアップチャレンジ表彰を受賞。 ・ストレスチェック制度の導入。 ・メンタル産業医の設置。			3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	・「えるぼし認定(星2つ)」を受けている。 ・ダイバーシティ研修を実施している。 ・障碍者雇用率は、法定雇用率2.2%に対し令和2年6 月現在2.55%。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・雇用時や昇進時に職務や役職に応じた外部研修を 含めた教育訓練を実施している。 ・取得推奨資格制度により資格取得費用を全額支給している。				4	5.5			8	9						
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・定年時再雇用制度の改定により同一労働における格差を是正した。					5.5			8.5		10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康事業所宣言証明書を受領し、ヘルスアップチャレンジの表彰を受けた。			3					8							
11	景	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュー ス、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・環境マネジメントシステムを導入し、毎年の環境基本計画に建設副産物の3Rを推進している。											11.6	12.4 12.5	14.1		
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・事務所の電気使用量と毎年30現場の使用船舶・重機等の燃料使用量を集計。年度ごとに削減目標を設定するとともに、優良事例の全社展開を進めている。							7.3					13			

	カ						主ない	DGs	(17=	<u>ї —</u>	·ルと	169タ	ーゲ	ット	·)関連:	項目			\neg
	テー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1		3	4		6						12 13		15	16	17
	ゴリ	, — , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	併せて記載してください。)	188 MH	2 ****	3 ###### -W-	4 son-see	≘	7 888	THE STATE OF THE S	8 #### 9	10	11 :	12	13 MARKET	14 ************************************	15 ****** 1	6 PREMIER	**************************************
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	毎年30現場の使用船舶・重機等の燃料使用量を集計し、完工高1億円当たりのCO2排出量を算出している。 排出量削減に向け、ハイブリッド型重機の導入や作業 船燃料をA重油から軽油への転換、油圧駆動部の部 分電動化なを進めている。							7.2				1	12.4 13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる				3.9			6.3				1	1.6 1	12.4				
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・作業船からの油流出事故を防止するため、港湾・河川・湖沼工事や水域近接の建築工事において、事故防止を目的とした教育を実施。 ・藻場の造成、魚礁等の設置、水鳥の飛来地造成等の提案、研究、施工を実施している。						6.6								15		
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6										
17		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	·ISO14001を取得している。			3.9			6	7					12 13.3	14	15		
18	-	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・毎年のCorporate Reportにて取り組みを開示している。											1	12.6				
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・現場仮設事務所への太陽光パネルや風車の設置等 により、再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。						7	7.2					13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												1	12.2 13	14	15		
21	製品・:	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	·IS09001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。			3.9								1	12.4				
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	·IS09001の認定を受け、品質確保と向上に努めている。									9							
23	-	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	·藻場の造成、魚礁等の設置、水鳥の飛来地造成等 の提案、研究、施工を実施している。						6						12 13	14	15		
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・社会インフラの整備に貢献している。 ・洋上風力発電施設の建設コスト低減のため、着床式・ 浮体式双方の基礎工法の開発に取組んでいる。また、 海底ケーブルの敷設に必要なケーブル敷設船建造に 向け、設計に着手している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 13	14	15	16	17
25	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・フェイスシールド着用が義務化されたフィルピンで近隣 住民にフェイスシールドを提供。				4					9		11	12	14	15		17

Γ	カ		目体的大阪级				主な	SDGs		ゴー									
	テ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			14 1		17
	ゴリ		併せて記載してください。)	1 555 İvê (s.)	2 555	3 marchit	4 manuant	5 SECULATION 6	PRESERVATIVE CORNER	MILITARE SECTION	8 ####	9 1810000	10 *****	11 ###################################	12 305 12	13 ZKEREC ARROSHREE	14 ****** 15 *****	16 PROBLE	17 (11111111111111111111111111111111111
26	歌·地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・AED(自動体外式除細動器)を小学校に寄贈。 ・日本各地で海岸清掃を実施。 ・港湾工事の理解促進、建設産業への就職希望者増加を目的として、大学や高専生を対象とした現場見学会を開催。 ・障がい者の自立支援の一環として、アート作品を現場の仮囲に掲示。				4							11			14 1	5	17
27		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13			
28	組織体	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営目標(年度計画)にSDGsのアイコンを使うなど、 社内共有をしている。また、社内報でSDGs企画を連載 し、理解促進を図っている。								8	9							17
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・当社の行動規範、行動指針に基づきコンプライアンスマニュアルにも反社会的勢力の排除、不正競争行為の防止等を規定するとともに、セルフチェックカードを役職員に常時携行させ、事業活動における判断基準としてチェックさせている。															16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	・安全環境部にて環境基本計画を毎年策定し、水質 汚濁防止活動や騒音振動公害防止活動の実施、支 援を行っている。															16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	・機関投資家等との対話を通して得た意見は、適時適切に経営者にて伝え、当社の中長期的な経営方針等の策定に際しての参考としている。															16	17
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ メントするプロセスを整備している	・リスク管理規程を制定し、リスク項目管理表にてリスク の特定、評価を行っている。															16	
33		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・経営理念、行動規範、サステナビリティ基本方針などに基づいた事業活動を行うとともに、社会課題の解決を図ることで社会的責任を果たしている。															16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画(BCP)を策定し、社内周知している。									9		11		13.1		16	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・定年に到達した後の継続雇用を制度化しており、次 世代への技術の伝承を図っている。								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	16 1	7

SDGS達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

名 称: 東洋建設株式会社

代表者: 代表取締役社長 大林東壽

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な 取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用 や作業船の使用燃料転換、油 圧駆動の部分電動化等によ り、完成工事高1億円当たり の CO2 排出量を削減する。	【目標】 2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-C02/億円以下 海上土木 47.5t-C02/億円以下 建築 10.7t-C02/億円以下	【実績】 陸上: 47.6t-C02 (▲45.7%) 海上: 60.3t-C02 (▲30.2%) 建築: 11.4t-C02 (▲41.5%)
□環境 √社会 √経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、生産性向上 施策の実施により、時間外労 働時間を短縮する。	時間外労働時間 【目標】 上限 45.0 時間/月 上限 360 時間/年	【実績】 平均 34 時間/月 平均 410 時間/年
√環境 □社会 √経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の 実施件数 【目標】10 件以上	【実績】6件

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

名 称: 東洋建設株式会社

代表 者: 代表取締役 中村龍由

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な 取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 □社会 ✓経済	ハイブリッド型重機の採用 や作業船の使用燃料転換、油 圧駆動の部分電動化等によ り、完成工事高1億円当たり のCO2排出量を削減する。	【目標】 2013 年度比 45%削減 陸上土木 48.1t-C02/億円以下 海上土木 47.5t-C02/億円以下 建築 10.7t-C02/億円以下	【実績】 陸上: 47.6t-C02 (▲45.7%) 海上: 60.3t-C02 (▲30.2%) 建築: 11.4t-C02 (▲41.5%)
□環境 ✓社会 ✓経済	適正工期確保、意識改革、時間管理制度導入、生産性向上施策の実施により、時間外労働時間を短縮する。	時間外労働時間 【目標】 上限 45.0 時間/月 上限 360 時間/年	【実績】 平均 30.3 時間/月 平均 364 時間/年
✓環境 □社会 ✓経済	生物多様性に寄与する施工に取り組む。	生物多様性に寄与する施工の 実施件数 【目標】10 件以上	【実績】10件

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地

名 称: 東洋建設株式会社

代表者: 中村龍田

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	作業船及び建設重機の省エネ化や 燃料転換の推進、ZEB/ZEHの展開を 推進し、温室効果ガス排出量を削減 する。	① Scope 1, 2 排出量を 2023 年度比 42%削減 ② Scope 3 (カテゴリ 1 及び 11) 排出量を 2023 年度比 25%削減	【2024 年度実績】 · Scope1 排出量: 28.1%減 · Scope2 排出量: 15.3%減 · Scope3 排出量: 30.0%減
□環境 ✓社会 ✓経済	多様な人財が価値観を共有し、協力 してお互いを高めあう職場の実現 に取り組む。	女性管理職数 35 名以上	7 名(2024年度末時点)
✓環境 ✓社会 □経済	ブルーカーボン生態系の造成・再生に取り組み取り組む。	アマモ場造成面積 3,000 ㎡ (2030 年度までの累計 面積)	【2024 年度造成面積】 11 ㎡(累計面積:11 ㎡)